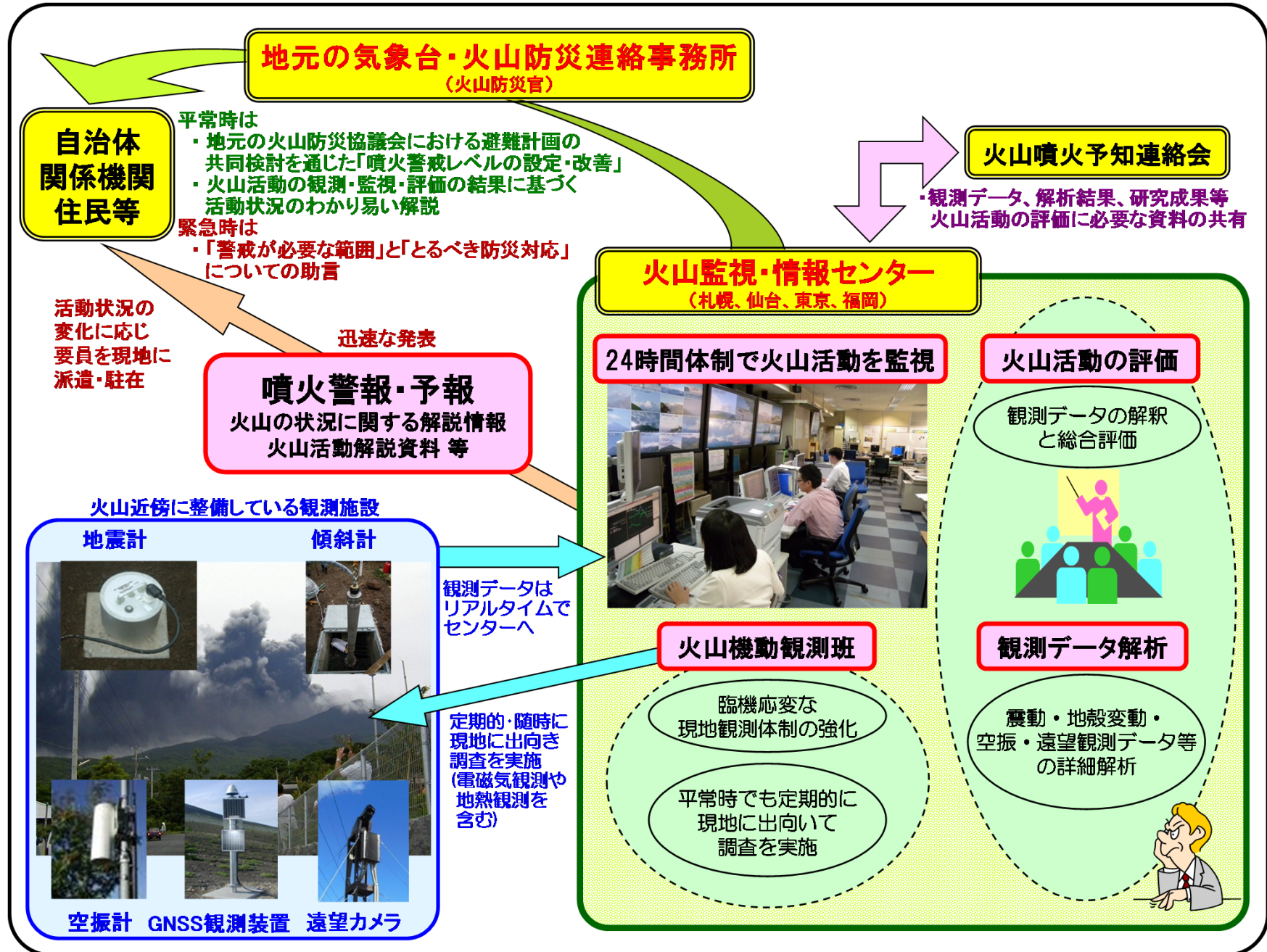


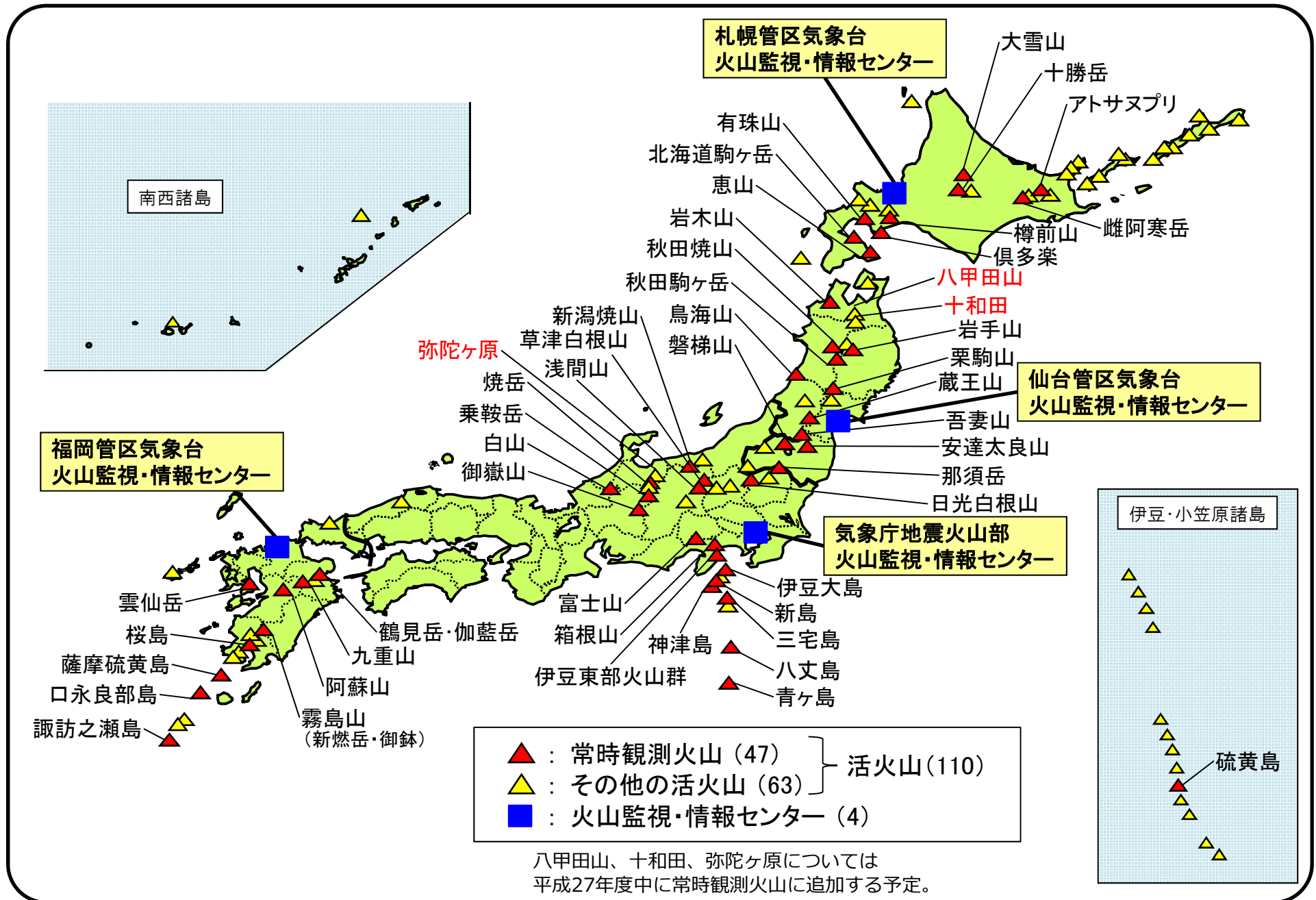
火山防災対策における 火山観測データの共有化について

気象庁

火山活動の観測・監視・評価の結果に基づく噴火警報等の発表と平常時からの共同検討



火山監視・情報センターにおいて火山活動を24時間体制で監視している火山(常時観測火山)



気象庁と大学との火山観測データの共有～火山噴火予知連絡会検討会を受けて

火山観測体制等に関する検討会報告(平成22年2月)

2. 火山観測体制の充実についての基本的な考え方

(2) 火山監視・観測体制の充実

火山噴火予知連絡会の検討において、監視・観測体制の充実等が必要な火山として位置づけられた火山については、気象庁による観測施設整備が進められているところであるが、関係機関と連携してさらに監視・観測体制の強化を図り、よりの確な噴火警報の発表に努める。

監視・観測体制の強化を効率的に行うため、観測データの流通及びその共有を推進することにより、各機関の観測資源をより有効に活用する。気象庁は、大学等研究機関の観測施設の保守・維持等の効率化に協力することを含め、大学等研究機関と連携して、監視体制の強化を図る。

平成22年度以降、火山観測データの流通・共有のため協定の締結が進められ、順次、気象庁と大学等との火山観測データの共有化を図っている

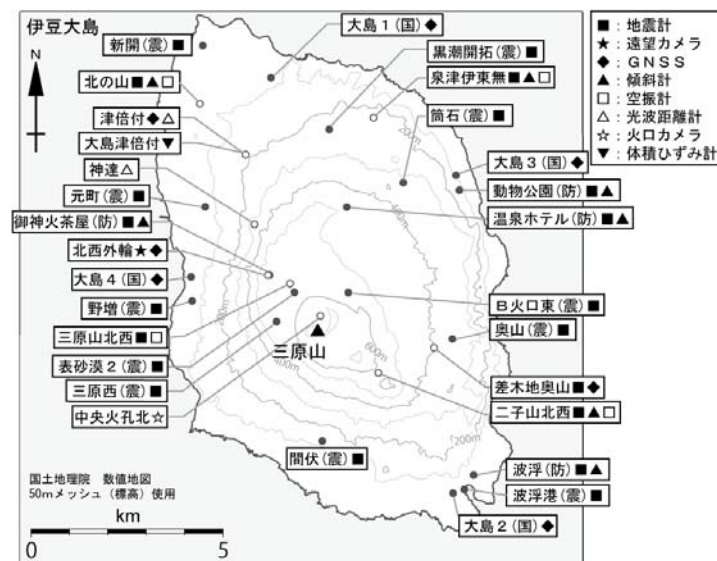
(例) 大学との協定の形式	協定数
気象庁－大学－防災科学技術研究所	7
気象庁－大学	2(一元化協定を含む)

【大学から地震計のデータ等の提供を受けている火山】31火山

雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、浅間山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、霧島山、草津白根山、乗鞍岳、御嶽山、白山、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、雲仙岳、薩摩硫黄島、口永良部島

このほか、防災科学技術研究所(地震計、傾斜計)、国土地理院(GNSS)、地方整備局(カメラ映像、地震計等)、都道府県(地震計等)等と協定を締結し、47火山中、46火山は他機関からデータの提供を受け、火山活動を監視。

例: 伊豆大島



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国): 国土地理院、(防): 防災科学技術研究所、(震): 東京大学地震研究所

【気象庁が監視に用いている観測点】

火山名	設置機関	地震計	空振計	カメラ	GNSS	傾斜計
伊豆大島	気象庁	5	4	2	3	3
	大学等	15			4	4
	合計	20	4	2	7	7

伊豆大島では、気象庁の観測点に加え、大学(東京大学地震研究所)、防災科学技術研究所、国土地理院の観測点を利用し、稠密な監視観測体制を構築

火山防災協議会での防災対応検討に資する火山観測データの共有について

御嶽山噴火を踏まえた今後の火山防災対策の推進について(報告)p.19
 内閣府に設置する「火山防災対策推進検討会議」において、監視と研究の目的でそれぞれ実施している火山観測について、相互の協力・補完および観測データの共有化促進の方策を検討すべき

課題 火山噴火予知連絡会では、監視観測、調査研究のための火山観測データの共有・流通について検討し、順次を進めているところ。一方、火山防災協議会での防災対応検討に資する火山観測データの共有・流通についての検討は必ずしも十分ではないのではないか

